## 1 確認事項

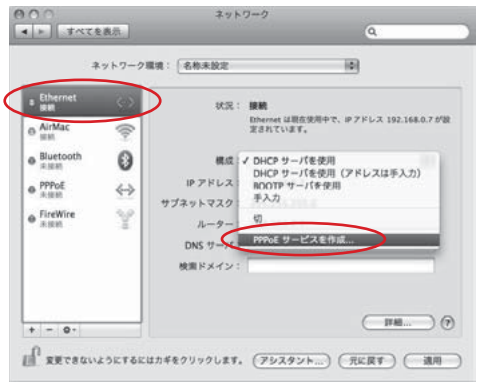
●Mac OS Xの場合、OSに標準搭載の接続ツールを使用しますので、「BBIQ接続ツール」（CD-ROM）はインストールする必要がありません。
●パソコンを起動した際、OS（オペレーティングシステム）は正しく動作していますか?
●メディアコンバータ（回線終端装置）の電源は入っていますか?
●メディアコンバータ（回線終端装置）とパソコンはLANケーブルで接続されていますか?
●設定には、〈ログインID〉と〈ログインパスワード〉が必要です。お手元に“BBIQ登録内容のお知らせ”をご用意のうえ設定を行ってください。
●ルーターをご使用の際は、以下の設定作業は必要ありません。
ルーターの設定につきましては、ルーター取扱説明書をご覧いただくか、メーカーにお問合せください。
なお、弊社でも「とことん設定サービス（有料）」でルーターの設定を行っております。

## 2 設定作業

1 [アップルメニュー]から【システム環境設定】を選択します。
（または、Dockのシステム環境設定をクリックします）

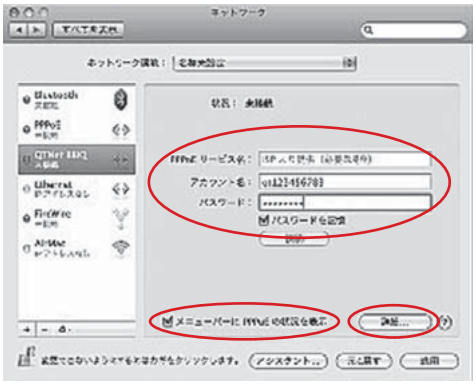
2 システム環境設定の画面が表示されますので、インターネットとネットワークから【ネットワーク】を選択します。

3 画面左の[Ethernet]を選択して、画面中央の[構成]から【PPPoEサービスを作成...】を選択します。



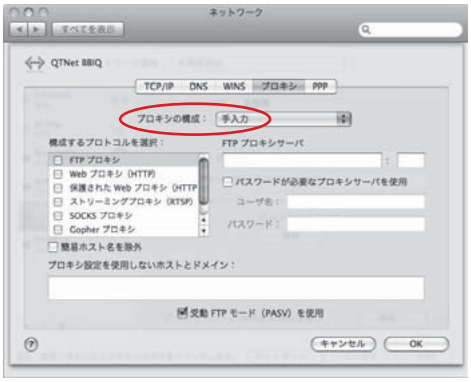
**4** 表示された画面の[サービス名]に任意の名称を入力して、「完了」ボタンをクリックします。
（ここでは例として「QTNet BBIQ」としています）

**5** 作成した「QTNet　BBIQ」（例）が画面左に表示されます。
各項目を以下のように設定ください。
[PPPoEサービス名:]⇒未入力
[アカウント名:]⇒“BBIQ登録内容のお知らせ”の＜ログインID＞を入力する
[パスワード:]⇒“BBIQ登録内容のお知らせ”の＜ログインパスワード＞を入力する
[パスワードを記憶]⇒初期設定はチェックされています
[メニューバーに PPPoE の状況を表示]
⇒チェックする（チェックを外したままでも結構です）
※チェックするとメニューバーにPPPoEステータスが表示されます。
全ての入力が確認できましたら、【詳細...】を選択します。



**6** 表示された画面の[TCP/IP]タブを選択して、[IPv4 の構成]から【PPP を使用】を選択します。

**7** [プロキシ]タブを選択して、表示された画面の各項目を以下のように設定ください。
[プロキシの構成]⇒手入力
[構成するプロトコルを選択]⇒全てチェックしない
[簡易ホスト名を除外]⇒チェックしない
[FTP プロキシサーバ]⇒空欄
[パスワードが必要なプロキシサーバを使用]⇒チェックしない
[プロキシ設定を使用しないホストとドメイン]⇒空欄
[受動 FTP モード (PASV) を使用]⇒チェックする



❽ [PPP] タブを選択して、表示された画面の各項目を以下のように設定ください。
[設定:]⇒セッション
[必要なときに自動的に接続]⇒通常チェックする
※チェックすると、ブラウザーなどの起動時に自動的に接続を開始します。手動で接続したい場合はチェックを外したままにしてください。
[ユーザがログアウトするときに接続を解除]
⇒通常チェックする
[ユーザアカウントを切り替えたときに接続を解除]
⇒通常チェックする

全ての入力が確認できましたら [OK] を選択します。

❾ [ネットワーク]の画面に戻り、[適用] を選択します。

これで、接続が完了しました。

さまざまなコンテンツやホームページの閲覧、電子メールなどのサービスをお楽しみください。
※Internet Explorer等のブラウザーソフトは接続後に起動させてください。

## 3 接続と切断

❶ メニューバーのアイコン（ ）を選択します。
※アイコン（ ）が表示されていない場合は、2-5（P93）より、 [メニューバーに PPPoE の状況を表示]をチェックします。
※アイコンがない場合でも、[システム環境設定]の画面からインターネットとネットワークの[ネットワーク]アイコンを選択いただければ、同様の作業が行えます。

1. 接続するとき⇒アイコンから[接続:QTNet BBIQ（例）]を選択し、接続します。

※[接続時間を表示]を選択していれば、下記のような表示となります。

00:00:20

2. 切断するとき⇒アイコンから[接続解除:QTNet BBIQ（例）]を選択し、切断します。